

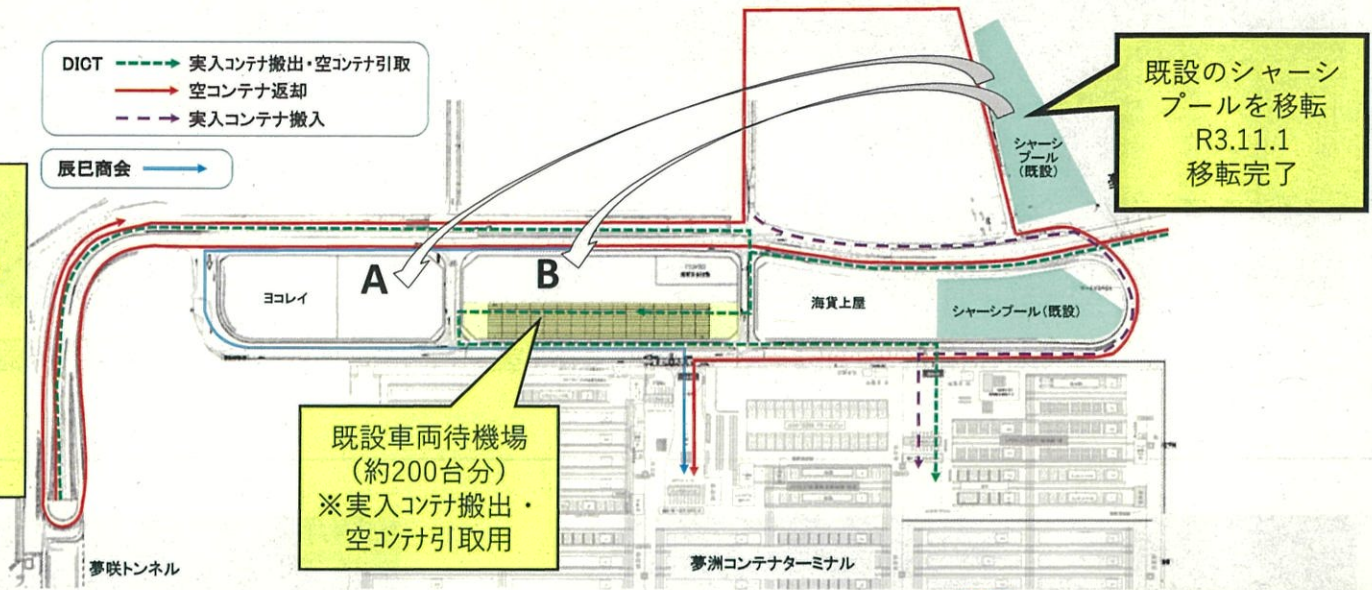
# 進捗状況 2

## ② 車両待機場の整備

### < 夢洲 >

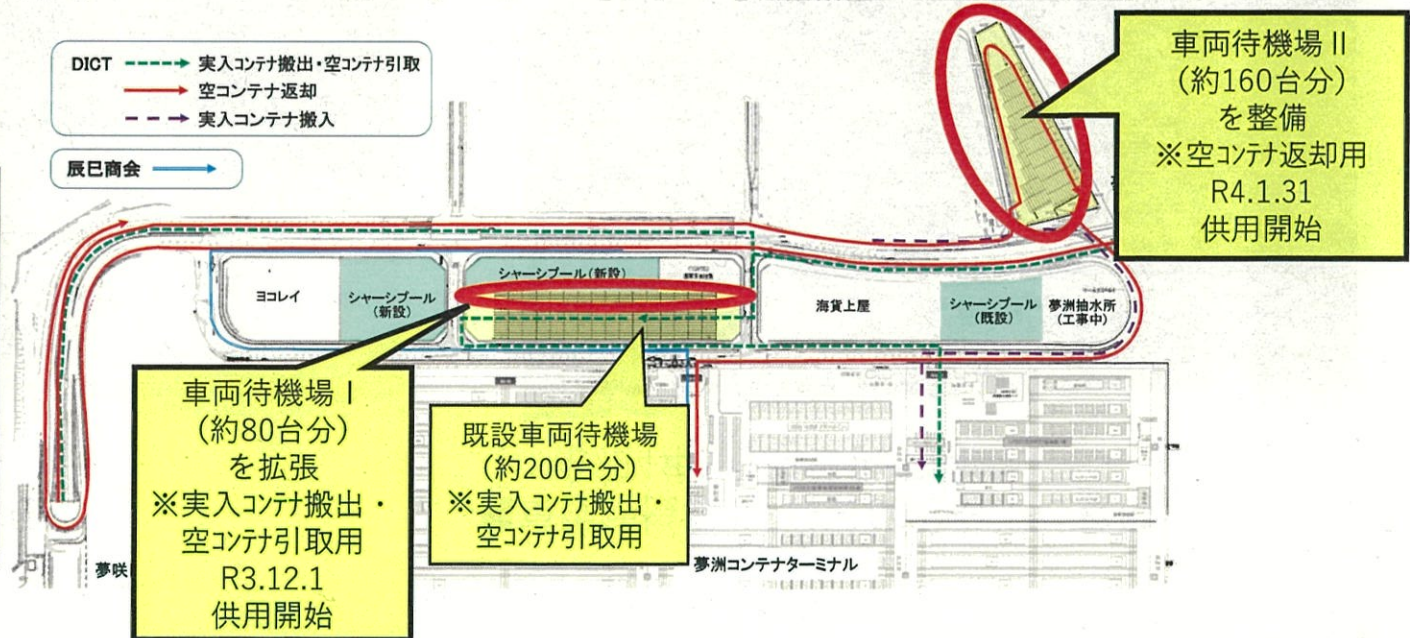
#### 対策前

- ・ 既設車両待機場 約200台分
- ・ 車両が集中する日・時間帯に、幹線道路上に滞留が発生
- DICT空コンテナ返却 13:00時点 約160台
- DICT実入コンテナ搬出・空コンテナ引取 16:00以降 約 70台



#### 対策後 (令和4年1月31日～)

- ・ 車両待機場 約240台分を追加整備し、これまで幹線道路上に滞留していたコンテナ車を収容
- DICT空コンテナ返却用 約160台分
- DICT実入コンテナ搬出・空コンテナ引取用 約 80台分
- ・ 車両待機場 (既設+追加整備) 約440台分



< 咲洲 > 令和3年度に車両待機場整備(150台分)の詳細設計業務を実施。令和3年度内工事着手、令和4年度末完成予定。

## 進捗状況 2

### ② 車両待機場の整備

- 車両待機場Ⅰ（約80台分）の拡張  
：令和3年12月1日供用開始



- 車両待機場Ⅱ（約160台分）の整備  
：令和4年1月31日供用開始



《幹線道路の状況》

夢洲コンテナ車整理場追加整備前



夢洲コンテナ車整理場Ⅱ供用後

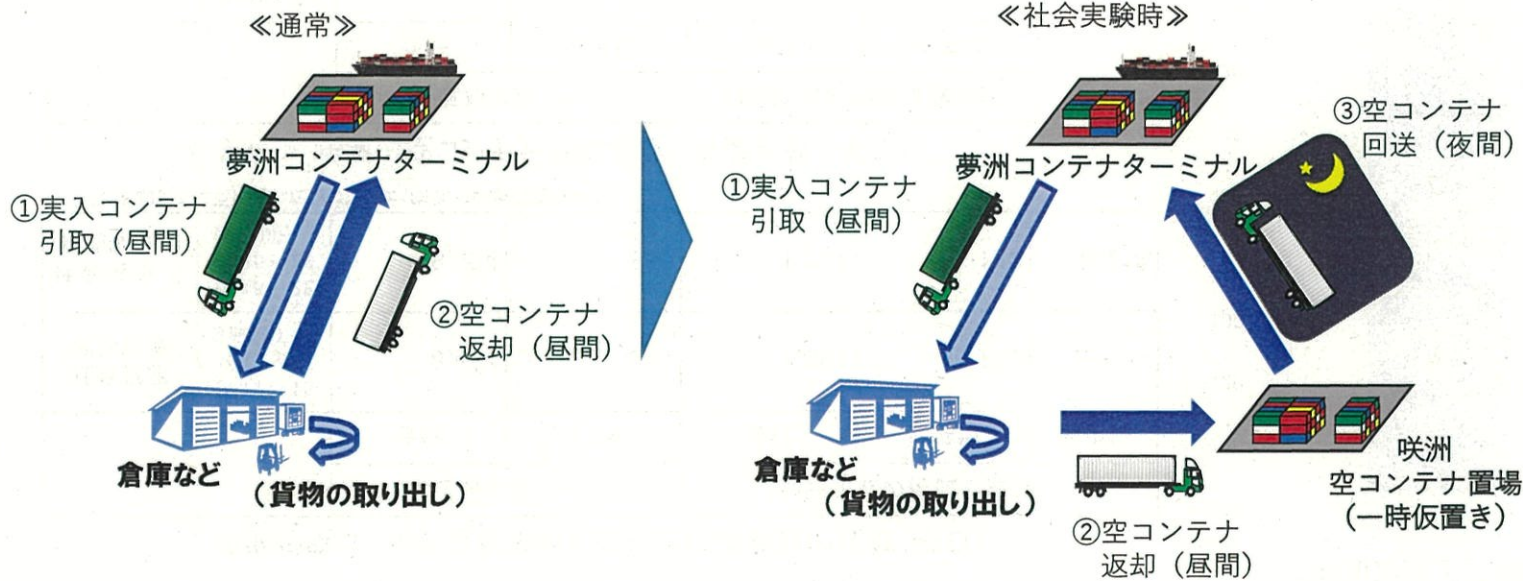


# 進捗状況 3

## ⑤-1 船舶着岸場所一時移転（咲洲C6,7埠頭 ガントリークレーン整備）

・ガントリークレーンの設計業務・岸壁性能照査業務について、令和3年10月より実施中。

## ⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転



社会実験実施状況

### 【令和3年度社会実験の実施内容】

- ✓ 実施時期 : 令和3年10月18日～30日（日曜日を除く12日間）
- ✓ 実施場所 : 南港C1地区西荷さばき地（約1.5ha）
- ✓ 実施事業者 : DICT構成の港運事業者6社  
（上組、近畿港運、山九、住友倉庫、日新、三菱倉庫）
- ✓ 実施本数 : 1,070本（平日1,038本、土曜32本）

# 進捗状況 3

## ⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転 令和3年度社会実験 実施結果

### 【実施結果】

社会実験期間中(平日10日間)の夢洲 (DICT) へ返却される空コンテナ本数全体 (約9,500本) のうち1,038本を咲洲へシフトした。

その効果として、13時時点の空コンテナ返却車両の**夢洲道路上待機台数が155台/日から123台/日 (▲21%) に減少**した。

夢洲の空コンテナ返却本数と道路上待機台数の比較(平日)

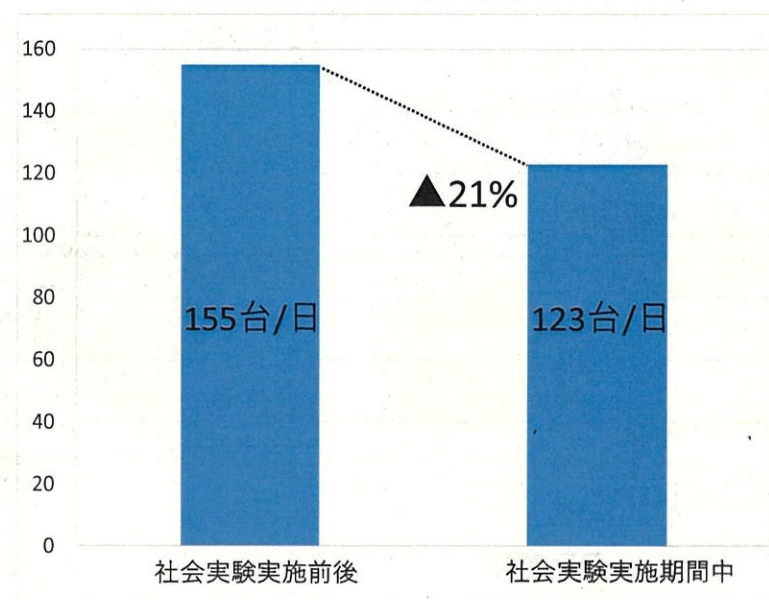
		返却本数(本)		13時時点の待機台数(台)		
		合計	日平均	合計	日平均	減少率
社会実験 実施前後	10/11~15 11/1,2,4,5 (9日間)	8,494	944	1,391	155	—
社会実験 ※ 実施期間中	10/18~22 10/25~29 (10日間)	8,504	850	1,231	123	▲21%

※16:30までに返却された空コンテナ(咲洲一時仮置き分除く)

<参考> 咲洲の空コンテナ返却本数と待機台数(平日)

		返却本数(本)		13時時点の待機台数(台)	
		合計	日平均	合計	日平均
社会実験 実施期間中	10/18~22 10/25~29 (10日間)	1,038	104	135 ※荷さばき地内に待機	14

夢洲道路上待機台数 (13時時点の日平均)



### 【今後の対応】

今回の結果を踏まえ、万博期間中の「空コンテナ返却場所一時移転」の実施規模等について検討していくとともに、昼間の回送(海上輸送)の可能性についても検討・協議を進め、物流車両の交通円滑化対策に繋げていく。

令和4年度は、海上輸送による回送を行う社会実験を実施予定。